平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スポーツビジネス・マネジメント概論 (Sports business management)	授業コード	E001151
担当教員名	竹田　隆行	科目ナンバリングコード	E10701
配当学年	1	開講期	後期
必修・選択区分	コース必修 スポーツビジネスコース 選択 地域マネジメントコース Bソリューションコース 会計ファイナンスコース 福祉マネジメントコース こども・福祉コース	単位数	2
履修上の注意または履修条件	スポーツビジネスの基本を学びます。スポーツ産業論6を教科書として使用します。他の科目を履修していなくても、この科目だけで理解ができる内容になっています。		
受講心得	手ぶらで講義に出席しない。事前に教科書を読んでおくこと。スポーツに対しては、各人がそれぞれのこだわり、考え方を持っています。こだわりは必要ですが、そこから新しい考えは生まれてきません。ゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいたい。		
教科書	スポーツ産業論　第6版(杏林書院)		
参考文献及び指定図書	スポーツビジネスマネジメント(日本経済出版社) マネジメント-基本と原則-(ダイヤモンド社)		
関連科目	スポーツリテラシーⅣ(スポーツ産業論)、スポーツ経営学		

授業の目的	スポーツを楽しむ人々の年齢層が広がるとともに、スポーツやレジャーを楽しむ場所や機会が飛躍的に増大しました。「するスポーツ」とともに「見るスポーツ」においても旺盛な消費活動を展開するようになり、ビジネスとしてスポーツが注目されるようになりました。 本講義では、スポーツビジネスとは何かを学習します。ビジネスの基本は領域を設定すことです。この講義ではスポーツビジネスの領域であるスポーツ産業の構造を理解します。修得した知識をビジネスの場で適応、応用できる技術として身につけることを目的とします。
授業の概要	スポーツビジネスの事業領域であるスポーツ産業の構造について学びます。スポーツ産業論6版の第Ⅰ部とⅡ部の内容を説明します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： ○第1回　スポーツビジネスとは何か スポーツビジネスという言葉は、「スポーツのビジネス」と「スポーツを利用したビジネス」を意味しています。スポーツビジネスとは何かを説明します。また、講義の進め方について説明します。	予習(教科書:初版の序を熟読。専門用語等を調べておくこと) 復習(教科書・ノート確認)2h
第 2 週 ： ○第2回　スポーツ産業の市場について スポーツ産業の市場規模及びその産業構造について学びます。スポーツに関連したICT産業と近接産業によるスポーツ産業の発展の可能性について説明します。	予習(教科書:第1章を熟読。専門用語等を調べておくこと) 復習(スポーツ産業の構造についてまとめる)2h

第 3 週 ： ○第3回　スポーツ用品産業1 スポーツ商品産業について説明します。スポーツ用品産業の歴史と産業構造について学びます。スポーツ用品産業の市場規模（メーカー、卸、小売店）とそれぞれの職種について説明します。	予習（教科書：第2章を熟読。専門用語等を調べておくこと） 復習（スポーツ用品産業の歴史についてまとめる）2h
第 4 週 ： ○第4回　スポーツ用品産業2 スポーツ用品産業の流通構造とビジネスサイクルについて学びます。スポーツ用品産業の発展について、ブランドビジネスとイノベーションの視点から説明します。	予習（教科書：第2章を熟読。専門用語等を調べておくこと） 復習（スポーツ用品産業の構造変化についてまとめる）2h
第 5 週 ： ○第5回　スポーツ施設産業 スポーツ施設産業について説明します。スポーツ施設の産業の現状と今後の課題について学びます。オリンピックレガシーとして、大会後のスポーツ施設が機能するか否かを説明します。	予習（教科書：第3章を熟読。専門用語等を調べておくこと） 復習（スポーツ施設産業の問題点についてまとめる）2h
第 6 週 ： ○第6回　スポーツサービス産業 スポーツサービスをプロダクトとして理解します。スポーツ用品とスポーツサービスの違いを学びます。ブランディングとロイヤルティの視点でスポーツサービス産業のマネジメントを説明します。	予習（教科書：第4章を熟読。専門用語等を調べておくこと） 復習（スポーツサービス産業の現状についてまとめる）2h
第 7 週 ： ○第7回　スポーツとメディア産業1 スポーツは、メディア（TV）が求めるコンテンツをすべて有しており、コストパフォーマンスがすぐれたソフトであることを理解します。ヨーロッパサッカーにおけるのメディアの功罪について学びます。	予習（教科書：第5章を熟読。専門用語等を調べておくこと） 復習（スポーツとメディアのかかわりについてまとめる）2h
第 8 週 ： ○第8回　スポーツとメディア産業2 メディアの多様化とテクノロジーの進化を理解します。モバイル端末とスポーツビジネスについて説明します。スポーツ中継におけるメディアが果たす役割の変化を理解します。	予習（教科書：第5章を熟読。専門用語等を調べておくこと） 復習（メディアの在り方についてまとめる）2h
第 9 週 ： ○第9回　スポーツ参加者を知る わが国のするスポーツの現状について、スポーツ実施率と競技スポーツ人口から説明します。わが国のスポーツ振興システムの問題点とその改善方法について学びます。	予習（教科書：第6章を熟読。専門用語等を調べておくこと） 復習（スポーツ参加者の現状と課題についてまとめる）2h

第10週： ○第10回　スポーツファンを知る スポーツ観戦市場の現状と観客動員数の現状を把握します。観戦者調査から、スポーツ観戦者の特性を理解してマーケティングに反映させます。スポーツファンの心理と行動について説明します。	予習（教科書：第7章を熟読。専門用語等を調べておくこと） 復習（スポーツファン特性をまとめる）2h
第11週： ○第11回　スポーツへの社会化と専門化 スポーツへの社会化には、スポーツ参加への社会化とスポーツによる社会化があります。スポーツ参加を競技スポーツとして見るのではなく、ライフステージから見ることの重要性を学びます。	予習（教科書：第8章を熟読。専門用語等を調べておくこと） 復習（スポーツの社会についてまとめる）2h
第12週： ○第12回　スポーツサービスと消費行動 サービス業としてのスポーツサービスについて説明します。スポーツ消費者のロイヤルティを高めるための顧客価値の主要3因子について学びます。	予習（教科書：第9章を熟読。専門用語等を調べておくこと） 復習（スポーツ消費者の行動についてまとめる）2h
第13週： ○第13回　スポーツ資格制度 スポーツ指導者の資格制度と公認指導者の活動・活用実態について説明します。スポーツ指導者に求められる専門性、技術レベルと称号の位置づけについて学びます。	予習（教科書：第16章を熟読。専門用語等を調べておくこと） 復習（スポーツ資格制度の在り方についてまとめる）2h
第14週： ○第14回　これからのスポーツビジネス2 スポーツビジネスの事業領域であるスポーツ産業は、今後構造変化が求められるのか、否かを本講義で定義した3つの産業から検証します。	予習（教科書：1部と16章を熟読） 復習（スポーツ市場拡大の可能性についてまとめる）2h
第15週： ○第15回　これからのスポーツビジネス2 スポーツ産業と隣接する産業とのコラボレーションについて新たなビジネスの展開について説明します。また、ビジネスを行う上で必要になるマネジメントの重要性を学びます。	予習（教科書：1部と16章を熟読） 復習（新たなスポーツ市場の可能性についてまとめる）2h
第16週： 期末試験 これまでの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分とします。	試験準備 教科書・ノートの確認

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	スポーツビジネスに必要な知識や倫理観を身に付けるとともに、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。

【知識・理解】	スポーツビジネスの専門的・実践的知識を習得し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	変容する社会において、多角的に考察・分析し、スポーツビジネスの現場で課題解決できるマネジメント能力を活かし、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点			
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	70点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	20点			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	